

新都市拠点ゾーンまちづくりアイデア構想 提案書

「統合医療」を中核機能とする癒しのまちづくり

提案者名 大阪ガス株式会社
シーデザイン株式会社

1. 課題:

新都市拠点ゾーン整備は、地域の生活環境を向上させること、地域の広域集客力を高めること、の二つの課題に応えるものでなければならない。

(新駅の意味) 新幹線の新駅は、地域の便益施設であるだけでなく、日本各地の人々が湖南の価値を享受するための施設である。新都市拠点はこの期待に応え、新しい価値を創造し、人を惹きつけるきらりと光るまちでなければならない。

(ニーズ) 人々の最大の関心事は「健康・医療」。都市生活のストレス、高齢化社会への不安。これに対する答えが求められている。

(可能性) びわこの「癒しの環境」は他にない資源。これを活用し、身心の健康を図り、治療を施す機能を充実することができれば、広域からひとは集まる。

2. ソリューション:

新都市拠点を「身心癒しのまち」として整備する。

- デザイン：新駅に始まり道路、街並み景観すべて、「ひと優先」の方針が伝わるようデザインされ、多世代にアピールする「住みたいまち」ナンバーワンとなる。
- ソフト：医療・健康増進機能が中心となるが、生活を充実させるためのソフトが大切。暮らしに楽しみを見だし、新たな生きがいを求めるひとを支える包括的なプログラムが含まれる。
- 連携：湖南地域あるいはひろく滋賀各地と連携し、「癒しのネット」を構築する。新都市拠点は、「癒しの環境」へのゲートウェイであり「癒しの環境」のハブとなる。

3. 具体化の手法:

以上の考えを具体化するため、「統合医療」、即ち、西洋医学と東洋医学、その他の代替医療とを総合的に提供する医療の仕組みを提案する。

統合医療は、米国では既に従来の医療に匹敵するような市場規模にまで成長しつつあり、わが国でも関心が高まっている。滋賀は「もぐさ」の主産地であり、東洋医学とは縁が深い。新都市拠点が統合医療の先鞭をつけ、周辺と一体となって癒し機能を充実させるなら、栗東は日本の統合医療のセンターとなり得るし、全国から癒しを求めて訪れる人々が絶えないだろう。

湖南癒しの環境

心身ともに疲れた現代人が求めるのは癒し。ひとは琵琶湖に寛閑を、山に閑逸を求め、湖南の地に遊び、住む。ほど良い遠さ、便利さと不便さが日本人に合っている。在留外国人のライフスタイルにもアピールするだろう

- やま 湖南アルプス 天狗山 鶏冠山 太神山 金勝山 狛坂鷹崖 天狗山 鶏冠山
- うみ 湖岸さざなみ街道、琵琶湖博物館、港からうみへ
- 体験 アグリノ郷、信楽陶芸の森、農業学習センター
- 学ぶ びわ湖文化公園、立命 龍谷キャンパス



統合医療 = 西洋医学 + 代替医療*

* 代替療法の種類

- 漢方医学 (漢方 鍼灸)
- 食事・ハーブ療法・アロマセラピー
- 瞑想療法・リラクゼーション
- アニマルセラピー 園芸療法 芸術療法
- カイロプラクティック・マッサージ

米国の代替医療

成人の42%が利用、その負担額は140兆円
1997年調査 国立代替医療センター開設

(1) 地区全体の基本コンセプト / 整備方針

基本コンセプト :

「心身癒しのまちづくり」とし、ひとが心豊かに落ち着いて生活の営みを行えるまちづくりを目指す。

まちづくり指針 :

これまでの効率性、利便性、収益性ではなく、優先度をひとの身心を癒すことに役立つかどうか、ひとに生きがいを与えるかどうか、ひとと自然の調和に資するかどうか、に置く。

整備方針 :

1) 癒しの環境整備

- ア．湖南地域のゲートウェイとして、癒しの環境イメージを高める豊かな水と緑が豊富に折り込まれたまち
- イ．車優先ではなく歩行者優先のまち
- ハード・ソフトともに隅々までバリアフリ - 化されたまち
- ウ．中低層の高さに統一されているなど、街並みが優れたまち

2) 癒しの機能整備

統合医療の拠点：新都市拠点に代替医療、補完医療施設を誘致し、隣接医療法人との提携のもとに、健康増進・診断・治療など統合医療機能を備える。統合医学研究所、大学誘致を進める。

癒しのソフト：a)安心支援 b)生きがい支援 c)生涯学習支援

3) 癒しの連携推進

湖南地域との連携：相互補完により地域としての総合能力を高めるとともに、データベース整備、地域ネット整備など共同事業、連携事業を進める。

(2) 地区整備の内容

基本的な方針

1) 統合医療環境の導入

西洋医学と東洋医学、その他リラクセ - ション等総合的な健康の維持回復のための機能を整備していくことを目標とする。特に東洋医学の導入を積極的に推進する。

2) 自助による健康増進の重視

個人の日常的な関心を高めることによって、必要以上に医療に頼らない。医療費の上昇や高齢化などが危惧される状況では、健康に係わる知識や技能は全ての人の必須の教養となるものと考えられる。このため楽しくこれらの知識や経験を幅広く身につけられる環境を構築していく。

3) 機能の複合と段階整備

種々の機能が相互に連携し、効果を一層高めるようにする。健康に係わる種々の機能が総合的に複合化することにより、他にはない施設となる。また、ニ - ズに応じて必要な機能を追加していくなど、次第に成長していく事業を考える。

- a) 救命ネット・介護支援ネット (高齢者・要介護者支援)・育児支援
- b) 契約菜園・手しごと工房・OBによる手取り足取り起業塾
- c) コミュニティーカレッジ

農家と連携した朝市・農業観光
栗東トレーニングセンター・琵琶湖博物館等との連携事業

健康・医療拠点の機能構成

中核的施設

《1》医療施設

鍼灸の診療所と漢方処方など中国医学。通常の西洋医学の診療所。

《2》健康増進施設

メディカル・フィットネス施設、温浴施設等【統合医療の一貫として設置（医療法42条5号）】健康づくり大学の施設としても利用。

《3》健康づくり大学（コミュニティ・カレッジ）

健康増進をテーマとした地域の人々のための生涯教育、企業や健康保健組合等の団体の健康管理の支援、職能訓練、起業家育成を行う。

- ・健康増進公開講座（東洋医学を主とした啓発普及）
- ・健康増進教室（ヨガ、気功、マッサ-ジ、太極拳、料理等の教室）
- ・職能育成塾（鍼灸、マッサ-ジ）
- ・起業家塾（健康食・福祉機器等の分野の起業家育成）
- ・健康図書館（健康増進に関する一般向け書籍のミニ図書館）
- ・ミュージアム・ホール

関連施設

- ・中核施設による集客と連動した関連施設を誘致する。
- ・健康食を提供するレストラン、漢方の薬局、健康食品ス-パ-、福祉・リハビリ機器等の展示・販売店等
- ・工房・アトリエ・SOHO
- ・菜園・ガーデン

施設の立地等

広域からの利用も想定され、また地域の利用もあることから、新幹線駅と草津線新駅からのアクセスの良い所に立地することが望ましい。また高齢者や身障者等の利用も考えられるため、両方の駅からは完全なバリアフリ-でのアクセスが確保される事が必要となる。

スイス LLCAS CLINIC(がん治療)

統合医療を採用。従来の医療法に加え、美術・音楽・運動を日課に組みこみ、新鮮な有機栽培の野菜・全粒穀物・果物を中心とする食事療法・ハーブ療法を併用。生まれながらに備った自然治癒力の活性化を重視する。

米国の老人ホーム

カレッジと連携する施設が増え、成功している。若い世代と一緒に学び、ときには教える機会をもつことが生きがいとなり、喜ばれている。

スポーツトレーナー養成・作業療法士養成

タイマッサージ養成

-Thai Massage Training Centerと交流

SOHO (Small Office Home Office)

起業家塾と連動し、NPOも含めたニュービジネスを振興

(3) 土地利用誘導方法、開発手法などの具体化のアイデア

関連組織等の事業参加の働きかけ

- 1) 東洋医学系 明治鍼灸大学および上海中医薬大学関西校：
統合医療の一角を担う診療施設を始め、他の中核施設への参加を想定。
健康づくり大学については、中長期的には分校とする可能性も視野に入れながら、当面は大学教育を除く施設の開設、或いは運営参加などを提案予定。
- 2) 西洋医学系 済生会滋賀病院：
医療法4条施設の開設あるいは運営参加を提案予定。
- 3) 運動・健康増進施設 オージースポーツ：
メディカル・フィットネスの運営や健康づくり、大学への人材供給などソフトな分野でのノウハウを持つことから、その参加・誘致を予定。
- 4) 生涯教育 日本写真印刷、ネットイン京都など運営参画に関心
- 5) 関連付帯施設 東急不動産グループ：
工房・アトリエ・スタジオ・ギャラリー・エステティックサロンその他リゾート施設など運営ノウハウの提供、事業参加等を検討。

地域との開放的な連携の実現

栗東市や周辺地域における健康関連施設等との連携を図ることによって、総合的な拠点の実現化を図る。

- 栗 東 市：医療・福祉行政との連携、生涯学習などとの連携
医療・健康関連施設：周辺地域における医療機関、健康・スポーツ施設、福祉施設などとの連携。栗東トレニングセンターとも技術交流などの可能性がある。
- 健康組合等：組合員の健康に関する啓発普及事業や社員等の研修などによる連携。場合によっては事業参加。
- 市民団体等：健康や福祉分野の市民団体やNPOとの連携。
- その他：農家等との連携による体に良い食材の確保。

明治鍼灸大学

本校所在地 京都府船井郡日吉町
鍼灸医学に関する我が国唯一の高等教育機関。附属病院や附属研究所を持ち東洋医学と西洋医学による統合医療の場ともなっている。

上海中医薬大学関西校

本校 大阪市北区 / 教育センター・クリニック 東京都千代田区
東洋医学教育センターが上海中医薬大学と連携して経営する中国医学教育機関。

大阪ガスグループ

- ・オージースポーツ：
関西圏でフィットネスクラブ 各種スポーツ施設等を運営
- ・アクティブライフ：
関西圏で老人ホーム 介護ケアホームを運営

東急不動産グループ

- ・東急リゾートサービス
- ・イーウェル
- ・東急ハンズ
- ・東急スポーツオアシス

提案の健康・医療拠点が形成されると次のような効果が期待できる。

市財政への効果

固定資産税等の税収の増加。一方で市民の健康増進等による医療・福祉コストの削減が期待できる。

コミュニティ形成効果

このようなサ・ビスがあることで、周辺市民の生活利便性が向上したり、様々な交流活動が発生するなどコミュニティの健全な発展が期待される。また住宅等の立地誘導につながり、市街化が促進されるものと想定される。

集客効果

広域からの集客が期待され、新幹線駅整備の効果を高めるとともに、商業業務施設の立地誘導にもつながるものと考えられる。

雇用誘発効果

健康・医療に関連する人材の育成等によるニュー・ビジネスの増加、施設の運営管理等に係わる雇用ニ・ズなどによって、地域の産業振興や雇傭開発の効果が期待できる。

既存産業の活性化効果

適切な連携を通じて、一次産業や医療産業、スポ・ツ産業等の関連産業の活性化につながる可能性がある。

